

### 相模湾で声張り上げて Sailing Sailing!!

台風 10 号の動きが心配される中、8 月 25 日 15:30 小田急片瀬江ノ島駅改札前に集合。江の島ヨットハーバーに係留されている「やまゆり」体験サンセットクルーズに、現地集合組を含めて13名が参加した。

湘南の貴婦人とも言われる大型木造帆船「やまゆり」は、1964 年東京オリンピックの為に建造された全長 13.3m19.6t2



本マストのケッチ型美艇だ。全員が乗艇、ライフジャケットをつけて 16:35 出航、南東の風 8~10m 波頭が白くなり少しうねりがある中、鎌倉・逗子・葉山沖を経て、森戸海岸 裕次郎灯台を目指して帆走。ジブセールとミズンセールだけが、時折ヒールして波しぶきを浴びる。

これぞセーリングだと、他の乗船客を憚らず Sailing Sailing を大熱唱。大久保キャプテンは苦笑いを浮かべながらも指揮をしてくれた。(17:05)

1 時間ほどしてタッキング、江の島方向に向かう。(17:25)

雲の間からわずかに覗く夕日を目指して進む。時折黒っぽい雲から落ちてくる雨粒を浴びながらの島の裏側の岩場に到着。太陽は雲の中に



沈んだか、あたりが夕焼け色に染まったのには感動。(18:10)

直ちにハーバーに向けて帰港。18:35 着艇、全員無事下船。そして、往きと同じ江の島大橋を渡り、片瀬西海岸の飲み部会場に再集合。江の島と相模湾の夕景を望む、nalu Restaurant&Bar(ナルー レストラン Shonan Golf Resort3階)で 19:00 からイタリアン系メニュー+飲み放題で盛り上がり、



21 時解散。かくしてサンセットクルーズは終了した。シーシャンテを歌う我ら

が、久々に潮風にあたり海のしぶきを浴びて、潮の臭いを吸い込めることが出来たひと時になったのではないのでしょうか。

### やまゆり体験サンセットクルーズ参加の皆さん

鈴木 純、山路 永司、新西 實、本間 英臣、鈴木 昭、鶴野 正樹、大和 浩章、大久保 憲、西山 豊、野本 秀雄、飯田 誠一、的場 薫

(順不同 敬称略)

+VINBLANC2 河野 透 美千代 今井 麻恵 (40年ともにヨットを楽しんだ廣原の仲間)

### やまゆりへの思い

油壺・諸磯の京急油壺マリーナで、40 年ほどヨットを楽しんでいました。その傍らにオーニングが破れ今にも水船になりそうなヨットがありました。それが「やまゆり」でした。

時折、手入れをする人が現れ、いつの間にか諸磯湾からいなくなりました。ある時、江の島ヨットハーバーにあるのを見つけ懐かしく思いました。しかし、その時は由緒あるヨットとは知りませんでした。

昨年、やまゆり保存会の活動を知り、賛助会員となって、セーリング体験に皆さんをお誘いしようと考えました。

なお、今回お世話をしてくれたクルーは、保存会会員で、皆さんボランティアで艇の保全・整備・運行にあたっています。



T2 廣原 健

廣原さん、貴重な体験をさせていただきました。あのローリングとピッチング、心地よい潮風としぶき、あつらえたようなスコール。そして雲間の夕日。一度だけの体験では、まだまだ、と仰るでしょうが、私にとってはフルコースを味わわせていただきました。1日たった今でもまだ揺れているような。(B1 鶴野)